011073 腰椎変性疾患-腰椎椎体間固定術

ステップ名称		ステップ1		ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	ステップ6	ステップ7	
		1日前	基準日			1日後～2日後	3日後～7日後	8日後～13日後	14日後	15日後
			術前	術中	術後					
到達目標		手術に対する心身の準備ができる		手術が終了する	合併症なく経過する	合併症なく経過する	創痛自制内で歩行器歩行ができる	創痛なく自力歩行ができる	日常生活の注意点を理解し退院できる	
		リハビリテーションの必要性と方法が理解できる			創痛がコントロールできる	創痛がコントロールできる	コルセットを正しく装着できる			
							正しい姿勢でシャワー浴ができる			
							立位が保持できる			
処置	文章	手術後に腰に巻くコルセットのサイズを測ります	手術開始30分前に排尿を済ませます	手術室で点滴やおしっこの管などが入ります	酸素マスク、心電図モニターなどをつけます	指示で持続点滴を抜きます	適宜、傷の確認をします	適宜、傷の確認をします	適宜、傷の確認をします	10時頃退院です
		浣腸をします			指示で酸素マスクをはずします	心電図モニターをはずします				
					マッサージ機をつけます	適宜、傷の確認をします				
						腰の管を抜きます				
						マッサージ機は動けるようになれば外します				
						おしっこの管を抜きます				
						リハビリ科の受診があります				
検査				手術中にレントゲンを撮ります		血液検査があります	7日後レントゲンがあります		レントゲンがあります	
							7日後血液検査があります			
							7日後CT検査があります			
体温・呼吸・循環	文章	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	
注射				手術室で点滴があります	翌朝まで持続点滴です	終了後点滴を抜きます 抗菌薬の点滴を行います				
投薬		持参薬があればお知らせ下さい				朝から処方薬が始まります				
清潔・排泄		シャワー浴をしてください				体を拭きます				退院後、入浴できます
		顔とからだの前面に保湿剤を塗布します				2日後創部に異常がなければシャワーができます				
食事		夕食後から絶食です お茶・お水は飲めます	朝7時から絶飲 朝7時以降水分は取れません		帰室6時間後に指示で飲水できます	朝から食事が始まります				退院後、制限はありません
活動・安静度		制限はありません			ベット上安静です 看護師介助のもと体の向きを変え	車椅子に乗れます	3日後病棟内を歩行器で歩くことができます	8日後から理学療法士の指示で歩行器なしで病棟内を歩くことができます		退院後、重労働やスポーツは医師の許可があるまでできません
						腰の管が抜けたらコルセットを装着しご自分で横向きになる、坐位になる、立つことができます ただし身体をひねらないでください		9日後から歩行できます		
教育・指導・説明・リハビリ		主治医から手術について説明があります			家族の方に手術結果の説明があります	運動療法があります	運動療法があります	運動療法があります	運動療法があります	看護師から退院について説明があります
		薬剤師から薬について説明があります				手術結果の説明があります				
		看護師から手術について説明があります				2日後シャワー浴の注意事項について説明があります				
		特別な栄養管理の必要性（有）				コルセットのつけ方について説明します				
書類		手術同意書・麻酔同意書・輸血同意書を看護師詰所に提出してください								退院療養計画書を渡します 請求書を渡します
		入院診療計画書を渡します								
手術										